

地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書（別紙２）

団体名	いきがい工房 さらら
-----	------------

取組の名称	こどもたちの居場所づくり&子育てなかまの居場所づくり
実施場所	川崎市川崎区浜町1-9-14 アカツキビル1F おむすびかふえ サララ
対象地域	川崎区田島地区
対象地域の特色・課題	工業地帯に隣接しており古くから下請け会社が多く共働き家庭が多い。養育にかける家庭も多く、また労働者や外国人が多く住み核家族世帯が多いため、家庭支援が必要な地域である。こども達が安心して安全に過ごせる場所が不足しているのが課題である。核家族のために子育てを相談し頼るコミュニティーが少ないことが課題である。また一人暮らしの高齢者が気軽に集まれる場所がないのも課題といえる。
取組の趣旨・目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の見守り 登校する子どもたちの見守り</li> <li>・放課後のこども達の居場所（遊びの見守りと学習支援など）の提供。</li> <li>・乳幼児や子育て中の保護者から高齢者がであう café の場所を使いながら、こどもが健やかに育ち若者や大人が心ゆたかに暮らし世代を超えたふれあいが繰り広げられる身近な場所になるようにいろいろな世代に向けた取り組みをおこなう。ひととひとがつながり分かち合うことやおたがいさまといえるような街づくりを目的とする。</li> </ul>
実施内容・実施スケジュール	<p>① 朝の見守り（週2回程度） 8:00～8:30 登校する児童の見守りと声掛け</p> <p>② 放課後支援 18:00～19:00 宿題などの学習支援 （小・中・高校生）（毎週月曜日）</p>

	③ 子ども食堂 17:00～19:00 (毎月第4金曜日) ④ フードパントリー (ひとり親サポート) (月2回程度) ⑤ こそだてひろば 9:30～13:30 (毎週月曜日) ⑥ こどもレストラン&おもちゃひろば 10:00～15:00 (毎月第3土曜日)		
参加者の年代	① 7～12歳 ② 7～18歳 ③ こどもと子育て世代 ④ ひとり親家庭 ⑤ 子育て世代 ⑥ 0～10代のこどもと子育て世代	定員 (1回あたり)	① 10名 ② 10名 ③ 130名 ④ 10名 ⑤ 10名 ⑥ 10名
実施頻度	① 週2回程度 ② 週1回 ③ 月1回 ④ 月2回程度 ⑤ 週1回 ⑥ 月1回	活動日数 (年間)	① 80日 ② 40日 ③ 12日 ④ 24日 ⑤ 40日 ⑥ 12日 計208日
スタッフ体制	① 1名 ② 3名 ③ 10名 ④ 2名 ⑤ 1名 ⑥ 2名		

<p>連携する団体・ 連携の手法</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合同会社ゆいまーるに会場の貸し出しをしてもらう</li> <li>・ 学習サポートの夕食の提供をしてもらう</li> <li>・ おむすびかふぇサララの利用者にボランティアの協力を呼び掛けてもらう。</li> <li>・ 近隣保育園（あいせん保育園・わたりだ保育園・桜本保育園）にチラシを配布して早出保育利用の保護者に呼びかけてもらう。</li> <li>・ 田島支所や町内会にチラシの配布・回覧の協力をしてもらう</li> <li>・ コストコ・区社協・こども食堂ネットワークなどと連携して食料配布を行う</li> </ul>
<p>取組実施により 見込まれた効果</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 登校する子どもたちの見守りと声をかけることでつながりができ放課後におむすびカフェに遊びに来る子どもたちが現れました。</li> <li>② 塾に通うことのできない子や勉強スペースのない子のスペースとして活用してもらえた。</li> <li>③ 子ども食堂を通して個食の子どもたちや忙しい保護者の支援と個食の高齢者にも声をかけ世代間交流につなげる。プラザ田島を会場にして夏に対面の会食会を実施、食事のあと準備したおもちゃコーナーで子どもたちが交わりあって遊ぶことができてよかった。そのためクリスマスの時にも実施しました。</li> <li>④ ひとり親家庭対象にフードパントリーを行うことでつながりをもち困っていることに寄り添い支援につながられた。ランドセルなどの寄贈やコメの高騰時にパンで主食を代用できたと喜んでもらった</li> <li>⑤ こそだてひろばやおもちゃひろばなど居場所の提供をすることで子育て中の家族とつながり子育ての相談活動につなげる</li> </ol>